

白川村職員募集について

村では、平成24年4月採用予定の村職員を募集しますので、ご希望の方は役場へお申し出のうえ、期日までに手続きされますようお願いいたします。

1 募集内容

職種	募集人数	募集要件	
		学歴・資格	年齢・居住地要件
事務職	若干名	高校卒業以上 自動車普通免許 ※特に工学系（土木、建築等）を希望	平成24年4月1日現在、満30歳未満の健康な方で、採用後は白川村に居住できる方
消防士	2名	高校卒業以上 自動車中型免許	平成24年4月1日現在、満25歳未満の健康な方で、採用後は白川村に居住できる方
看護師	1名	正看護師資格 自動車普通免許	平成24年4月1日現在、満30歳未満の健康な方
保健師	1名	保健師資格 自動車普通免許	

(注)学歴・資格については、平成24年3月31日までに取得(卒業)見込みの方も含まます

2 試験の方法・期日、採用予定時期

(1) 一次試験

期日 平成23年9月18日(日)(会場:高山市内)
内容 高校卒業程度教養試験・事務適性検査
※消防士は、9月19日(月)に集団面接、体力試験あり

(2) 二次試験

期日 一次試験合格通知の際にお知らせします。
(会場:白川村役場)
内容 作文及び面接試験等

(3) 採用予定時期 平成24年4月1日

3 受験申込み方法及び期限

受験希望者は、村職員採用試験申込書(役場総務課にあります)に健康診断書及び出身校(最終学歴)の成績証明書を添えて、**8月5日(金)**までに白川村役場総務課へ提出してください。詳しくは、下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先
総務課 人事担当 TEL6-1311

抱えること

ある宴席で「村の人達、特に高齢者はいろいろな悩みや憂鬱でいっぱいに見える人が多いが、みんな診療所へ行って話せば楽になるのではないか」という指摘を受けました。確かにそういう場合もあります。でも本当にみんなが一緒に抱えていることを話しに訪れたら、僕は医師というより教祖にでもなってしまうようです。そもそも誰もが悩みや秘密やいろいろな物語を抱えながらも、まあうまくやっているのが健全な人生社会のようです。

なお抱えているものがすごく重くなっても、まだ病むことはあまりありません。自分が抱えているものやその重みがわからなくなってしまうと初めて病むようになります。その場合言葉にならない部分、体の痛みや不調などの症状となり表れます。だから僕の仕事はそうした症状が実際の身体

体の病気かどうか区別すること。そして隠れた悩みやストレスなどが原因と考えられる場合、ご本人にそれに気づいてもらうことが治療につながります。気づきを得るには言葉にすることが大事で、そのためにいろいろ話してもらうことはあります。しかし実際に抱えていることをすべて告白することは求めません。そもそもあまりに他人の秘密や悩みを聞いてしまうことは、こちら側にとっても負担になります。基本は相手の人生であり、自分のことを自分で決めたり、その人の最大限を引き出すお手伝いまでできれば十分すぎるほどでしょうか。医療はお互いに、依存よりも自立を目標におきます。

そうは言っても今回の話は治療する側が気をつけるべきことでもあります。だから、なにかお困りのことがあれば難しく考えず、まずはいつでもお気軽におこし下さい。

診療所だより

伊左次 悟先生





▲筋力トレーニング事業を行いました



▲白川中学校を改修しました

◆ 特別会計現計予算合計額 12億3,228万円

収 入			特別会計名	支 出		
現計予算額 (うち繰越明許費)	収入済額	収入率		現計予算額 (うち繰越明許費)	支出済額	執行率
1億8,712万円	1億9,420万円	103.8%	国民健康保険 (事業勘定)	1億8,712万円	1億7,771万円	95.0%
9,754万円	9,883万円	101.3%	国民健康保険 (直診勘定)	9,754万円	9,387万円	96.2%
2億9,167万円 (1,865千円)	3億 333万円	104.0%	簡 易 水 道	2億9,167万円 (1,865万円)	2億9,344万円	94.6%
8,016万円	8,035万円	100.2%	温 泉 開 発	8,016万円	8,006万円	99.9%
1,985万円	2,039万円	102.7%	白弓スキー場	1,985万円	1,879万円	94.7%
10万円	6万円	60.0%	老 人 保 健	10万円	6万円	60.0%
3億5,389万円	3億5,365万円	99.9%	公 共 下 水 道	3億5,389万円	3億5,194万円	99.4%
373万円	371万円	99.5%	介 護 保 険 (サービス事業勘定)	373万円	53万円	14.2%
1億7,473万円	1億7,471万円	100.0%	介 護 保 険 (保険事業勘定)	1億7,473万円	1億7,155万円	98.2%
2,349万円	2,344万円	99.8%	後期高齢者医療	2,349万円	2,310万円	98.3%
12億3,228万円 (1,865万円)	12億5,267万円	101.7%	合 計	12億3,228万円 (1,865万円)	12億1,105万円	98.3%

下半期(平成22年10月～平成23年3月)

平成22年度 財政状況のお知らせ

◆繰越明許費とは
歳入歳出の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由に基づき年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用することができる経費を言います。

特別会計の現計予算額は12億3,228千円となりました。大きな事業としては、大郷簡易水道改良事業がありますが、その他は特に大きな工事はなく、特別会計は全体的に維持管理型予算の執行となっています。

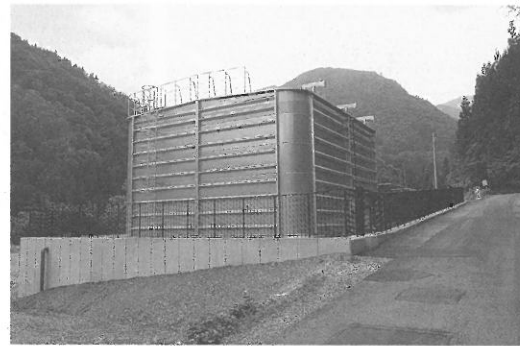
私たちが住む白川村にどんな財源がどれくらい入り、どのように使われているのか、予算の内容を広く村民の皆さんに知っていただくために、地方自治法並びに村財政状況の公表に関する条例に基づき、年2回(上半期：4月～9月、下半期：10月～3月)歳入歳出予算の執行状況をお知らせします。

今回は下半期分の予算執行状況をお知らせします。

平成22年度の一般会計予算額は35億2,577万円です。予算の執行率は98%に達する高い数値となっています。昨年度に引き続き統合小学校建設事業を進めたことに合わせ中学校の大規模改修事業などに係る整備、荻町地区電線共同溝整備、村道木谷・稗田線改良工事、戸ヶ野島線舗装補修事業、平瀬街なみ整備事業など良好に事業が推進されています。



▲村道木谷・稗田線改良工事を行いました



▲大郷簡易水道改良工事を行いました

◆ 一般会計現計予算合計額 35億257万円

収 入			
区 分	現計予算額 (うち繰越明許費)	収入済額	収入率
村 税	8億 742万円	7億9,692万円	98.7%
地方譲与税	2,278万円	2,397万円	105.2%
利子割交付金	99万円	102万円	103.0%
配当割交付金	30万円	44万円	146.7%
株式等譲渡 所得割交付金	10万円	13万円	130.0%
地方消費税 交 付 金	2,306万円	2,306万円	100.0%
自動車取得税 交 付 金	718万円	688万円	98.8%
地方特例 交 付 金	790万円	790万円	100.0%
地方交付税	9億9,083万円	9億9,083万円	100.0%
交通安全対策 特別交付金	53万円	63万円	118.9%
分担金及び 負 担 金	1,168万円	1,112万円	95.2%
使用料及び 手 数 料	7,767万円	7,772万円	100.1%
国庫支出金	3億6,573万円 (7,565万円)	3億9,870万円	109.0%
県支出金	1億3,227万円 (583千円)	1億3,640万円	103.1%
財産収入	5,369万円	5,527万円	102.9%
寄 附 金	4,357万円	4,653万円	106.8%
繰 入 金	7,536万円	7,246万円	96.2%
繰 越 金	5,750万円 (1,029万円)	5,750万円	100.0%
諸 収 入	1億4,644万円	1億4,705万円	100.4%
村 債	6億7,757万円	6億1,457万円	90.7%
合 計	35億 257万円 (9,177万円)	34億6,910万円	99.0%

支 出			
区 分	現計予算額 (うち繰越明許費)	支出済額	執行率
議 会 費	2,582万円	2,556万円	99.0%
総 務 費	5億 81万円 (154万円)	4億9,580万円	99.0%
民 生 費	2億3,637万円 (84万円)	2億2,551万円	95.4%
衛 生 費	1億1,005万円 (710万円)	1億1,226万円	102.0%
農林水産業費	1億8,762万円 (288万円)	1億8,850万円	100.5%
商 工 費	2億6,609万円 (1,200千円)	2億6,144万円	98.3%
土 木 費	7億 675万円 (4,430万円)	6億8,379万円	96.8%
消 防 費	1億3,005万円 (295万円)	1億2,049万円	92.6%
教 育 費	8億8,755万円 (2,016万円)	9億 554万円	101.5%
公 債 費	4億1,267万円	4億1,252万円	100.0%
諸支出金	1万円	0円	0%
予 備 費	3,878万円	0円	0%
合 計	35億 257万円 (9,177万円)	34億3,141万円	98.0%



小型ポンプの部優勝チームの操法



ポンプ車の部優勝チームの操法



ラッパ隊の演奏

平成23年度 白川村消防操法大会



◆ポンプ車の部 中部分団第1班(2年連続13回目)
 ◆小型ポンプの部 中部分団第5班(3年連続14回目)

平成23年度白川消防操法大会が、6月19日(日)村防災グラウンドで開催され、村議会議員ら多数の来賓と、消防団員・女性防火クラブ員等合わせて約200名が参加しました。今年にはポンプ車の部3チーム、小型ポンプの部9チームが出場し、熱戦を展開。選手皆さんの約1ヶ月にわたる厳しい練習の成果を、十分に発揮してくれました。

また、ポンプ車の部で優勝した中部分団第1班の皆さんは、8月7日(日)恵那市で開催される岐阜県消防操法大会への出場が決まりました。

村大会の成績は次のとおりです。(敬称略)

◆ポンプ車の部

- 優勝 中部分団第1班
 指揮者：尾崎 達也
 1番員：大塚 淳一
 2番員：川田 晋也
 3番員：上手 隆介
 4番員：滝 昌也
 補助員：大谷 直之

◆小型ポンプの部

- 優勝 中部分団第5班
 指揮者：栢田 隼也
 1番員：栢田 将也
 2番員：岩本 章典
 3番員：黒木 雄太
 補助員：下山 勝巳

◆番員賞

- ▽ポンプ車の部
 指揮者：尾崎達也(中部1)
 1番員：大塚淳一(中部1)
 2番員：川田晋也(中部1)
 3番員：梨谷雄次郎(南部1)
 4番員：滝 昌也(中部1)

- ▽小型ポンプの部
 指揮者：田中栄作(中部4)
 1番員：滝 愉鶴(中部6)
 2番員：岩本章典(中部5)
 3番員：黒木雄太(中部5)



小型ポンプの部優勝メンバー



ポンプ車の部優勝メンバー

保育園児も防火宣言!



白川・平瀬保育園児たちも、村幼年消防クラブ員として、「絶対に火遊びをしません」と防火宣言。その後、歌にあわせて、かわいらしい踊りを披露してくれました。

お礼
 厳しい練習に耐えてきた選手をはじめ、温かく支えてくださった指導者、団員、女性防火クラブ員、ご家族と職場のみなさんのご理解・ご協力に、深く感謝申し上げます。

フランス大使訪問

古田肇県知事へ「レジオン・ドヌール勲章」を贈るため来県していたフィリップ・フオール駐日フランス大使が、6月5日(日)白川村を訪れました。

フオール大使は、古田県知事や成原村長らとともに合掌造り集落を散策し、「古い街並みが素晴らしい。ミシュラン・ガイドの3つ星評価は理解できる。メディアを通して、観光客が戻ってくれるよう知事とともに頑張りたい」と話しました。



大きく育ててね

6月9日(木)白川・平瀬両保育園の年長園児16名が、東海北陸自動車道上りの飛騨白川パーキングエリア内にある畑で、サツマイモの苗植えを行いました。

中日本高速道路金沢支社が、緑化と地域貢献を目的に企画し、園児たちは、1人3株ずつ計48株を植えました。10月には収穫イベントも行う予定です。

山菜の不法採取やめて

6月11日(土)県道白山公園線で、大白山地域山菜取り締まり対策協議会による、不法な山菜取り締まりとパトロールが行われました。

この日は、関係者ら約10名が参加。通行する車両のドライバーにチラシを手渡し、採取禁止を訴えました。また、山から下りてきた車について任意で検査し、ウドやタケノコなど約30kgを没収しました。



バレーボールを楽しもう



は、楽しみながら基本技術を学びました。小椋監督は「白川中学校男子バレー部は、春の県大会で2位だった。何とか優勝できるようにお手伝いしたい。また、少しでも早い年代からバレーを親しんでもらえるよう、貢献したい」と話しました。

同日は、白川中学校の男子バレー部員も指導を受け、県トップレベルのプレーを肌で感じながら、とても良い体験ができました。

6月12日(日)白川中学校体育館で、白川郷ジュニアバレーボールクラブの児童たちが、岐阜県立岐阜商業高等学校(県岐商)バレー部の部員から指導を受けました。現在県岐商バレー部を率いる小椋正男監督が、バレーボールクラブを指導している尾崎達也さんの高校時代の恩師だったことがきっかけで、合同練習が実現しました。

この日の練習メニューはすべて部員たちが考えたもので、参加した22名のクラブ員



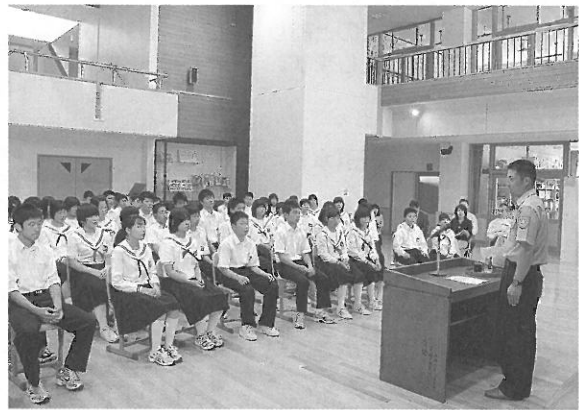
あなたの情報をお待ちしています。

☎ 06-13311 内線126

迷ったら困難な道を

6月16日(木)白川中学校で、キャリア学習会があり、高山消防署白川出張所の消防士土田靖さんが講演を行いました。

土田さんは、目上の方に対する礼儀の大切さや、地域を守っていることのやりがいについて語り、最後に「学校で学んでいることは、社会でも必ず役に立つので、しっかり勉強してほしい。また、将来進路を選択する時には、楽な方ではなく、困難な道を選んでほしい」と呼びかけました。



自然の中で遊びを発掘

白川村と連携協定を結んでいる中部学院大学短期大学部(関市)の宿泊研修が、5月28日(土)～29日(日)及び6月18日(土)～19日(日)白川村で行われ、幼児教育学科の学生112名が参加しました。

研修では、トヨタ白川郷自然学校で自然環境を学び、ゼミ単位で自然物を用いて独自の遊びを生み出すプログラムを展開。

葉っぱでトランプを作ったり、福笑いゲームを展開したりと、学生同士のコミュニケーションもたらず創造性豊かな作品が次々と提案されました。

学生たちは、幼い子どもと関わる未来の保育者として、実践的な学びの中で遊びの大切さを再認識し、自ら遊びを発信する体験ができました。



莊川桜2世すくすくと

莊川桜の種が「白川村農林産物試験研究場」のほ場で発芽に成功し、114本が元気に育っています。

種は、世界遺産合掌街道実行委員会のメンバーで、白川郷観光協会長の山腰博文さんが昨年6月に譲り受け、トヨタ白川郷自然学校の渡邊優一郎さんに栽培を依頼。渡邊さんは、祖父の貞男さんから指導を受け、育ててきました。冬期間、種をビニールハウス

内のプランターで寝かし、4月末頃に畑へうつしたところ芽吹き、現在3cm～10cm程に成長しています。

苗は、3年ものになれば約2メートルに育ち、植樹が可能になるとのことです。山腰さんは「芽が出て、大変うれしい。日本海と太平洋を桜で結ぼうと桜を植えた、佐藤良二さんの意志を引き継ぎたい」と話しました。

山開きで笠踊り

6月16日(木)白山山開きが平瀬白山神社で行われ、関係者ら約50人がシーズンの安全を祈願しました。神事後、平瀬民謡保存会が白川民謡を披露し、山開きを祝いました。

シーズンは、県道白山公園線が冬季閉鎖される11月上旬頃までで、平瀬道からの入山者数は、昨年と同じ6千人を見込んでいます。今年はまだ残雪が多く、7月上旬までは冬装備が必要とのこと。



